

東海地方の天候（令和5年8月）

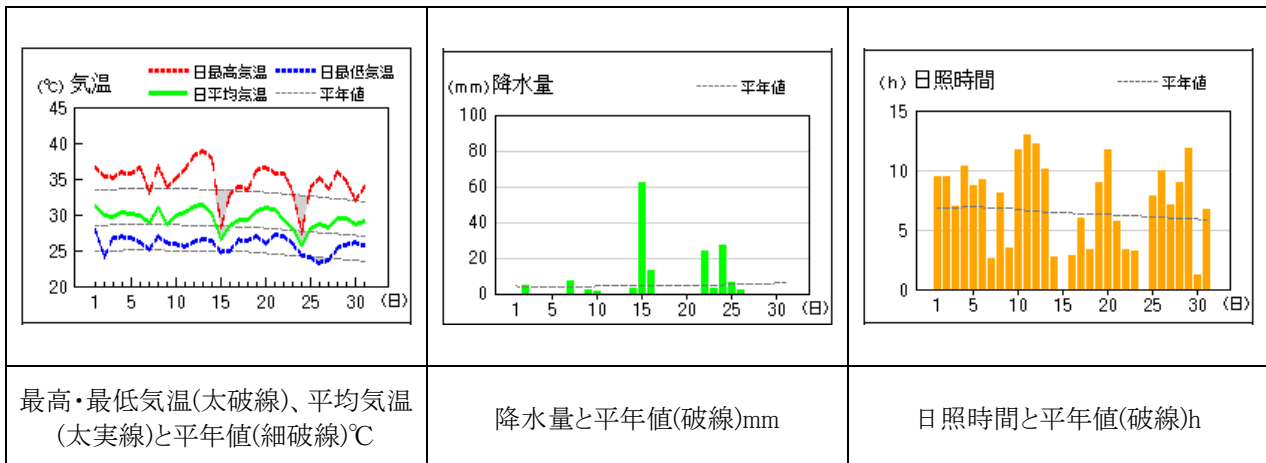
1 概況

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温はかなり高くなりました。また、台風や湿った空気の影響で大雨となった日もあったため、月降水量はかなり多くなりました。

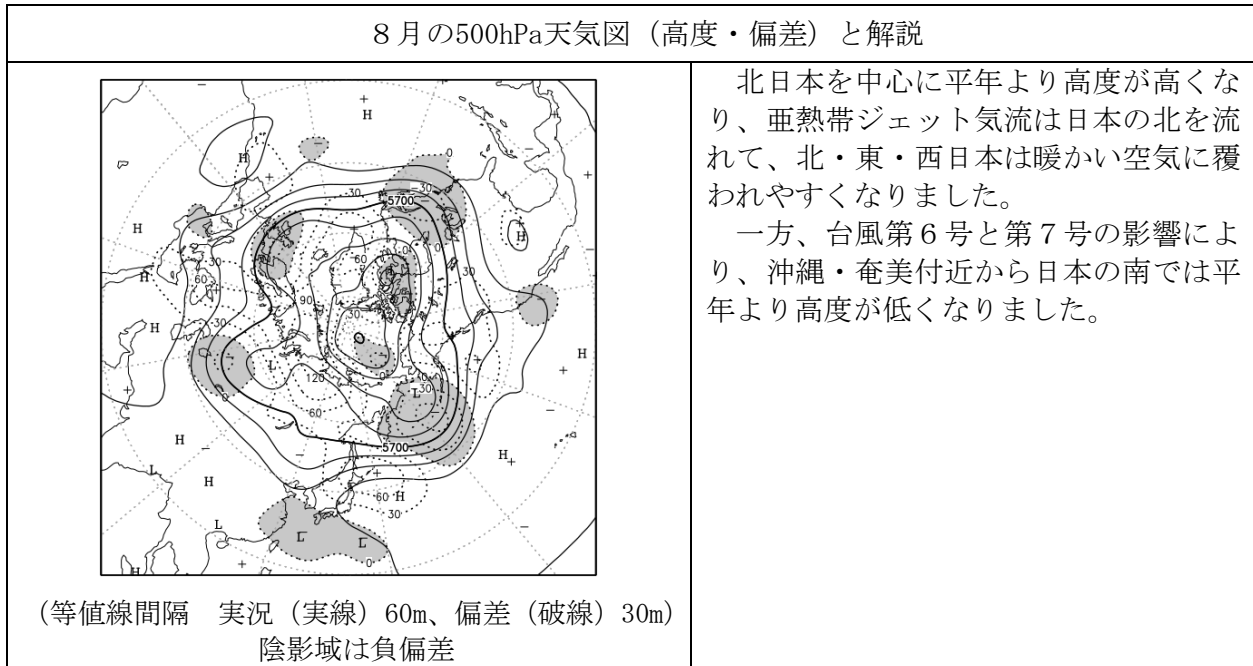
月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「かなり多い」、月間日照時間は「平年並」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	太平洋高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、南西諸島付近を通過し九州の西を北上した台風第6号や湿った空気が流れ込みやすかった影響で曇りや雨の日もあり、大雨となった所がありました。このため、旬降水量は多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温は高くなりました。 旬の平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は「平年並」となりました。
中旬	旬のはじめと終わりは太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、旬平均気温は高く、旬間日照時間が多くなりました。中頃には台風第7号が和歌山県潮岬付近に上陸し近畿地方から日本海へ進み大雨となりました。このため、旬降水量はかなり多くなりました。 旬の平均気温は「高い」、降水量は「かなり多い」、日照時間は「多い」となりました。
下旬	旬の前半は、上空の寒気や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もありました。後半は、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温は高くなりました。 旬の平均気温は「高い」、降水量は「平年並」、日照時間は「平年並」となりました。

参考 時系列図（名古屋地方気象台）



2 大気の流れの特徴



3 各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
静岡	28.8	(+1.4)	+*	344.5	(185)	+*	10	243.3	(121)	+
浜松	28.6	(+0.8)	+	484.0	(382)	+*	17	242.0	(114)	+
御前崎	28.4	(+1.7)	+*	305.5	(208)	+*	13	258.7	(109)	○
三島	28.7	(+1.4)	+*	286.5	(170)	+	14	227.8	(119)	+
石廊崎	27.8	(+1.6)	+*	159.5	(128)	+	12	271.6	(119)	+
網代	27.8	(+1.4)	+	254.0	(137)	+	11	225.5	(116)	+
名古屋	29.4	(+1.2)	+	156.5	(112)	+	12	216.2	(107)	○
伊良湖	28.5	(+1.1)	+	343.5	(297)	+*	15	234.8	(100)	○
岐阜	29.6	(+1.3)	+	288.5	(170)	+	16	203.0	(100)	○
高山	26.2	(+1.8)	+*	91.5	(46)	-*	10	228.9	(129)	+*
津	29.1	(+1.2)	+	275.5	(191)	+*	16	240.1	(109)	○
上野	28.1	(+1.4)	+*	219.0	(161)	+	14	188.2	(98)	○
尾鷲	27.6	(+0.8)	+	1138.5	(266)	+*	20	160.4	(90)	○
四日市	28.0	(+1.2)	+*	313.0	(197)	+	17	213.9	(109)	○
東海地方	----	(+1.3)	+*	-----	(189)	+*	--	-----	(110)	○

注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+: 高い(多い) ○: 平年並 -: 低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+-」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に) や] がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

4 令和5年（2023年）8月の順位更新表

※ 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	高山	26.2	+1.8	26.1（2010）	1899	24.4
	御前崎	28.4 =	+1.7	28.4（2020）	1932	26.7
	石廊崎	27.8	+1.6	27.7（2020）	1939	26.2
2	静岡	28.8	+1.4	29.2（2020）	1940	27.4
3	上野	28.1	+1.4	28.8（2020）	1937	26.7
	浜松	28.6 =	+0.8	29.7（2020）	1883	27.8
	三島	28.7	+1.4	29.2（2020）	1930	27.3

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
3	浜松	484.0	382	866.8（1910）	1883	126.8
	尾鷲	1138.5	266	1391.5（1977）	1939	427.3

参考資料 平年並の範囲（東海地方）

8月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.3 ~ +0.5℃	28 ~ 116%	90 ~ 117%
中旬	-0.3 ~ +0.4℃	50 ~ 111%	92 ~ 107%
下旬	-0.6 ~ +0.5℃	45 ~ 137%	90 ~ 120%
月	-0.2 ~ +0.3℃	80 ~ 115%	90 ~ 113%

資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めています。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。